April, 2022

新型コロナ感染防止対策マニュアル

一般社団法人　日本眼科医療機器協会

新型コロナ感染防止対策マニュアル

The 126th JOS で出展企業にご対応頂きたい事項

【事前・搬入】

★学会参加者(ブース説明員、学会登録者)の入場可能な条件として下記①または②の要件の遵守をお願いいたします。

①新型コロナワクチン 3 回接種済みの方。

②来場される日から遡り 72 時間以内の PCR 検査又は抗原検査で陰性が確認された方。搬入日も含みます

例：4 月 13 日の搬入に参加される場合：4 月 10 日～12 日

4 月 14 日から参加の場合：4 月 11 日～13 日の間に検査を実施して頂き、陰性の方でお願いします。

(複数日来場される場合は最初に来場される日程の事前 72 時間以内に行った検査で結構です)

尚、協会へ陰性証明書の提出は不要ですが、各社の展示責任者は責任を持って確認してください。

※抗原簡易キットを購入の場合は、薬機法承認を得ている医療用抗原検査キットをご使用ください。

研究用のキットは不可。 https://www.mhlw.go.jp/content/000836277.pdf を参照ください。

★各社展示責任者が学会参加者(ブース説明員、学会登録者)の健康状態を確認・把握

学会終了 2 週間後まで各社の展示担当者の方は展示会参加者のリストと陰性が証明できる(抗原検査は結果の写真で結構です)ものを必ず保管してください。もし、学会会期中・会期後に陽性者が発生した場合は学会から提出を要求される場合がございます。

◎下記に該当する方や症状のある方の展示会搬入への参加は固くお断りいたします。

・過去 2 週間以内に感染、および拡大している国、地域への訪問歴のある方

・発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱がある方

・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 等

各社展示担当者は責任を持って搬入関係者及び施工・装飾関係者の管理をお願いいたします。

③搬入日に入館する全ての搬入業者、施工・装飾会社、自社出展者等は F1、E2、E3 エレベーターから出た踊場又は 3F 正面入口で全員検温を受けてください。37.4 度以下の場合は検温モニターから検温済みシールがプリントされます。誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して作業を行ってください。

37.5 度以上の方は入場できません。展示責任者に連絡して感染対策の対応をお願いします。

④小間施工会社、搬入業者の健康状態の事前確認及び参加者名簿を作成し、学会終了 2 週間後まで保管してください。学会の要請があった場合は名簿を提出して頂くケースもございます。

⑤新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をダウンロードし、登録してください。

「大阪コロナ追跡システム」の QR コードを 1 階エントランス等に複数個所掲示いたしますので利用してください。

搬入、施工、装飾関係者及び展示会参加者全員が登録していただける様に周知をお願いいたします。

【会期中】

①マスクの着用(サージカルマスク*若しくは N95 の性能と同等マスクの着用)又はフェースシールド等の着用義務〔*2 層、3 層の不織布マスク〕

②こまめに手指のアルコール消毒を行ってください。

③展示会、学会への参加者全員、大阪国際会議場に入館する前に検温を受けてください。

新型コロナ感染防止対策マニュアル

37.4 度以下の場合は検温モニターから検温済みシールがプリントされます。誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して業務を行ってください。検温済みシールが確認できない場合お声掛けさせて頂く場合がございます。37.5 度以上の方はプリントされません。プリントされない方は入館できません。自社の展示責任者と連絡を取り適切なご対応(帰宅又は受診等)をお願いいたします。

④大阪国際会議場の入口で参加者全員「健康状態申告書」参加日毎に提出してください。
(展示責任者は社内の学会参加者に健康状態申告書を持参するようにご指示ください。)

⑤ブース内での商談コーナーには感染防止対策用のパーテーションを設置する等、対策を取ってください。
感染防止対策の一環として商談時の飲料等のサービスは禁止とさせていただきます。

⑥展示機器接触後は消毒をお願いいたします。 (場合によっては手袋を使用してください)

⑦販促資材（パンフレット、文献等）の手渡しはしないでください。参加者が自由に持ち帰ることが出来るようにしてください。サンプル、ギミックの配布は禁止とします。

⑧出展者同士の通路での不必要な会話、来場者への大声での呼びかけや強引な誘導はしないでください。

⑨体調不良者が発生した場合、展示責任者は該当者を速やかに隔離、医療機関又は保健所へ連絡し、指示を受ける。その後、展示事務局(展示受付)に速やかに詳細の報告をしてください。

⑩飲食をされる際はマスクを外すため、黙食に御協力をお願いいたします。

⑪展示会時間終了後、大人数での会食を避けて、感染リスクを低減するような対策を取ってください。

⑫学会終了後 2 週間以内にコロナ陽性者が確認された場合、協会に電話かメールで連絡をしてください。
学会長、運営事務局、大阪国際会議場に速やかに報告いたします。

⑬マスク等、衛生品の館内での廃棄は禁止です。(各社で責任をもって持ち帰り、廃棄してください)
＊ブースに来訪された医療関係者等、可能な限り日時、氏名、施設名等を記録すること推奨します。

The 126th JOS で協会が対応する事項

①搬入日に 3 F イベントホール及び同ホワイエに来場する全ての小間施工会社、搬入業者、出展者に対して F1、E2、E3 エレベーターを出た踊場又は 3F 正面入口で検温を実施します。37.4 度以下の場合は検温モニターから検温済みシールがプリントされます。誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して作業を行ってください。37.5 度以上の方は入場できません。その場合、展示責任者はすぐに当該者に対して帰宅又は受診する等適切なご対応をお願いいたします。

②展示会開催期間中は大阪国際会議場入口で全員、検温を実施します。検温モニターから検温済みシールがプリントされます。誰が見てもわかる位置に検温済みシールを貼付して展示会業務を行ってください。
37.4 度以下で、下記③の症状の無い方のみが 3F イベントホール及び同ホワイエで展示会業務が遂行可能。

③「COCOA」のアプリをインストールして登録、「大阪コロナ追跡システム」のご利用をお願い致します。
＊「大阪コロナ追跡システム」の QR コードを大阪国際会議場 1 階エントランス等に複数個所掲示いたします。
＊過去 2 週間以内に感染、及び拡大している国、地域への訪問履歴がある方、37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛、間接・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、等　体調不良、嗅覚異常や味覚異常がある方は入場を禁止させて頂きます。

④小間数に応じて入場証を発行いたします。 (新型コロナウイルス感染対策の為、入場者数が制限されます)
入場証の配布枚数が限定される為、入場証には社名のみが記載されます。

新型コロナ感染防止対策マニュアル

1～2 小間:4 枚、3～4 小間:6 枚、5 小間:7 枚、6～8 小間:8 枚、10～12 小間:12 枚、
16 小間:16 枚、20～28 小間:20 枚、40～60 小間:25 枚

＊学会登録をされていても自社ブースでの説明員として業務をすることはできません。

＊出展しない正会員、賛助会員、非会員は 4 枚を上限とさせて頂きます。

⑤マスク着用要請、手指消毒の呼びかけ、場合によっては手袋併用の推奨。

⑥展示会場内換気、空間除菌器、Co2 濃度計、入退場口に消毒液を設置

⑦展示受付、リフレッシュコーナー、おもてなしコーナー等に飛沫防止パーテーション設置

⑧体調不良者発生に対する対応

＊新型コロナによる体調不良者を隔離するための場所は 4F4-2 です。（但し、医師、看護師は不在）

⑨体調不良者の移動手段（コロナ感染者搬送可能タクシー）

事業所名	電話番号
ケアサポート風	0120-294-605
介護タクシー　ルカ	090-7107-8176
介護タクシー　きずな	090-1132-7709
関西メディカル民間救急	06-6954-8199
関民間救急大阪搬送サービス	0120-75-0621

⑩陽性疑い者発生時に対する対応

展示会開催中に自社の展示説明員に体調不良者が発生

⇓

展示受付(協会)へ報告する

⇓

協会から学会長、学会運営事務局、大阪国際会議場担当者へ報告

・展示会場閉鎖、消毒等の対応

・出展者に対して展示会中止または継続の報告

⇓

・日本眼科学会、日本眼科医会等の関連各所への報告

⑪学会終了後 2 週間以内にコロナ陽性者が確認された場合、学会長、運営事務局、大阪国際会議場に速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

新型コロナ感染防止対策マニュアル

濃厚接触者とは？

現在濃厚接触者は以下のように定義されています。（国立感染症研究所の定義）

・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者

・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者

・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者

・手で触れることの出来る距離（目安として１メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

学 会 名：第 126 回日本眼科学会総会

学会会期：2022 年 4 月 14 日(木)～16 日(土)

学 会 場：大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪

展示会場：大阪国際会議場　3F イベントホール及び 3F ホワイエ

総 会 長：大阪大学　医学部眼科学教室脳神経感覚器外科学（眼科）西田 幸二 教授

運営事務局：株式会社コングレ

展示事務局：一般社団法人　日本眼科医療機器協会